

〈水辺の話題〉

水辺に関してのトピックスを2、3拾って見ると、水と緑の空間が生活環境にとって重視され、とくに、都市部では貴重な存在と評価されるようになり、水辺の再生・創成が各地でうたわれている。例えば、この1年間で当センターが後援・協賛した水辺に関するシンポジウムが30を越えている。新しい分野であるまちづくりと水辺、水辺と景観、水辺と生態環境等を中心に活発な議論が展開されている。特に、国際性豊かなシンポジウムもみられるものもあり頼もしい限りであり、今後の成果を期待したいもので

ある。

8月1日は「水の日」であり、関係機関を中心にそれぞれ水に関する行事が行われた。その「水の日」をはさんで7月31日から8月5日まで東京銀座の資生堂ギャラリーで「水と題して」東俊行画伯の個展が催されていた。作品は、いずれも水を題材とするもので、水の躍動性と自然を生かした力作ばかりで圧倒され、読者にすべてお見せできないのは残念ですが、作品の中から、人の一生にも似た川を題材に心を重ね合わせて表現したという「流転」を紹介させていただきます。



東 俊行 個展 流 転 145.5×357.6cm 1989

〈出版物・ビデオ案内〉

“今、話題の水文化を語る文化誌”

月刊「FRONT」 980円(税、送料込み)

“美しいカラー写真295枚で紹介”

「世界のウォーターフロントPART I」
4120円(税、送料込み)

“川と人とのふれあい367km”

「信濃川水紀行」 2500円(税、送料込み)

“水辺空間広報映画のビデオ完成”

ビデオ「人・水・都市」 9800円(税込み・送料別)

企画 建設省近畿地方建設局

制作 財団法人リバーフロント整備センター

上記三誌及びビデオについては財団法人リバーフロント整備センターに直接お問い合わせ下さい。

“全国で開催されている美しい水辺づくりの試み”

「ふるさとの川をつくる」

——ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(I)——
定価 4000円(税込み)

監修 建設省河川局

編集 財団法人 リバーフロント整備センター

発行 大成出版社

申し込み先

〒156 東京都世田谷区羽根木1-7-11

株式会社 大成出版社

TEL.03-321-4131 FAX.03-325-1888



財団法人リバーフロント整備センター

〒102 東京都千代田区一番町6-4 一番町エイトワンビル6階

TEL.03-265-7121 FAX.03-265-7456

発行日1989年 9月1日